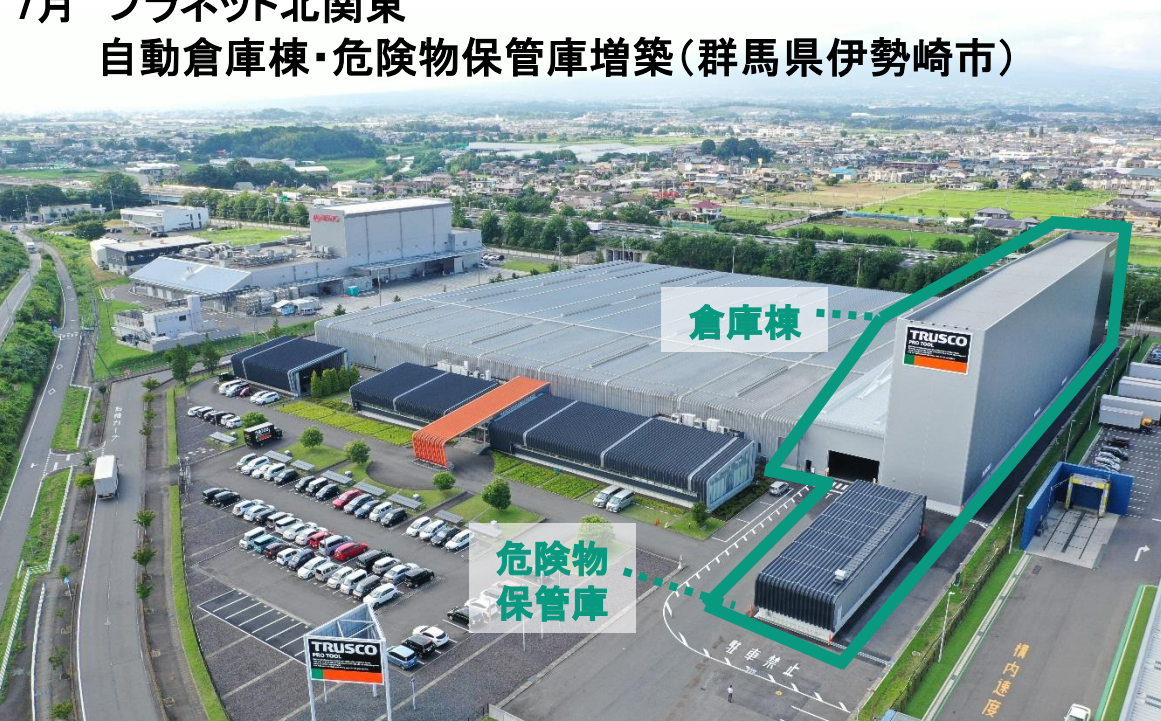


第57期 決算データ分析資料

令和元年(2019)12月期 第3四半期

7月 プラネット北関東
自動倉庫棟・危険物保管庫増築(群馬県伊勢崎市)



トラスコ中山株式会社

令和元年(2019)10月29日発表

経営企画部長 兼 経理部長 中山 達也
経営企画・広報IR課長 片桐 武志
経営企画・広報IR課 吉見 今日子
経営企画・広報IR課 齋藤 杏奈

〒105-0004
東京都港区新橋四丁目28番1号
トラスコ フィオリートビル10F
TEL:03-3433-9840 FAX:03-3433-9881
E-mail: info@trusco.co.jp

資料目次

第57期 令和元年(2019)12月期 第3四半期

■トラスコ中山について

P3 連結決算開始のご報告

P4 【連結】会社概要

A■全社経営実績

P5 ①経営成績

P6 ②【親単体】令和元年(2019)12月期
全社月次売上高推移／1日当たり売上高

B■販売実績

P7 ①【親単体】販売セグメント別売上高・売上総利益

P8 ②【親単体】販売セグメント別月次推移表

P9 ③【親単体】ファクトリールート ブロック別売上高・
構成比・業種別売上高

P10 ④【親単体】eビジネスルート売上高推移・
オレンジコマース連携数推移

P11 ⑤【親単体】ホームセンタールート得意先
上位10社取引高

P12 ⑥海外子会社の経営成績

P13 ⑦【親単体】商品分類別売上実績

P14 ⑧【親単体】プライベート・ブランド(PB)商品の
売上実績

C■取組み状況

P15 ①【親単体】仕入先数推移及び新規掲載商品売上高／
在庫アイテム数及びヒット率／販売口座数の推移

P16 ②【親単体】システム稼働状況

P17 ③【親単体】物流データ

D■財務等実績

P18 ①【連結】財務諸表

P19 ②販売費・一般管理費の主な増減内容

P20 ②販売費・一般管理費

P21 ③【連結】設備投資等の状況

P22 ④令和元年(2019)度継続中の主な設備投資

E■今期以降の計画

P23 ①経営計画

■参考資料■

P24 ① 株式情報

P25 ② 業界での指数比較

P26 ③【連結】令和元年(2019)12月期 四半期毎の実績・予算

P27 ④【親単体】令和元年(2019)12月期 四半期毎の実績・予算

P28 ⑤会社データ

P29 ⑥ユーザー別販売ルート

P30 ⑦当社売上高指数・鋳工業生産指数

P31 ⑧第57期第3四半期トピックス

【連結決算開始のご報告】

資産の重要性が増したため、当期、第57期-令和元年(2019)12月期第1四半期より、平成22年(2010)9月に設立したトラスコナカヤマ タイランドと、平成27年(2015)1月に設立したトラスコナカヤマ インドネシアとの連結決算を開始いたしました。

当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期の数値等との比較分析は記載しておりません。

また、連結決算に伴い、新たなセグメント(販売ルート)として「海外ルート」を追加いたします。連結子会社の業績及び海外部の諸外国向け売上高は今後「海外ルート」に含まれます。

【連結】会社概要

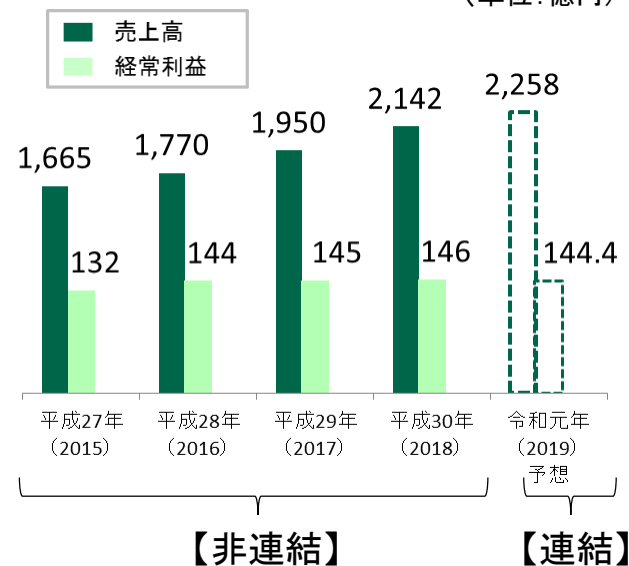
令和元年(2019)9月末現在



創業	昭和34年(1959)5月15日
代表者	代表取締役社長 中山 哲也 全日本機械工具商連合会 副会長 大阪機械器具卸商協同組合 理事長
本社事務所	東京本社(東京都港区・本店登記) 大阪本社(大阪市西区)
拠点数	計99か所 国内96か所:本社2か所、支店70か所、物流センター24か所 海外3か所:現地法人:タイ、インドネシア/ 駐在所:ドイツ
資本金	50億2,237万円
証券取引所	東証一部(証券コード:9830)
従業員数	2,805名(役員12名、社員1,677名、パート1,116名)
格付状況	A (株式会社格付投資情報センター)
事業内容	機械工具、物流機器、環境安全用品をはじめとしたプロツール(工場用副資材)の卸売業及び自社ブランドTRUSCOの企画開発

➤売上高・経常利益の推進

(単位:億円)



ビジネスフロー 仕入先様

() 前年同期比

当社(卸売業)

主な販売店様 5,305社(△22社)

ターゲット市場(主なユーザー様)

ファクトリールート

eビジネスルート

ホームセンタールート

海外ルート

機械工具商・溶接材料商・管材商・
伝導機商・電材商・梱包資材商

ネット通販企業など

ホームセンター・プロショップ・
家電量販店

海外子会社・海外ディーラー

製造業・建設関連業

製造業・一般消費者

屋外作業関連・一般消費者

海外製造業

メーカー

2,559社

(+143社)

内、海外メーカー
196社(+24社)

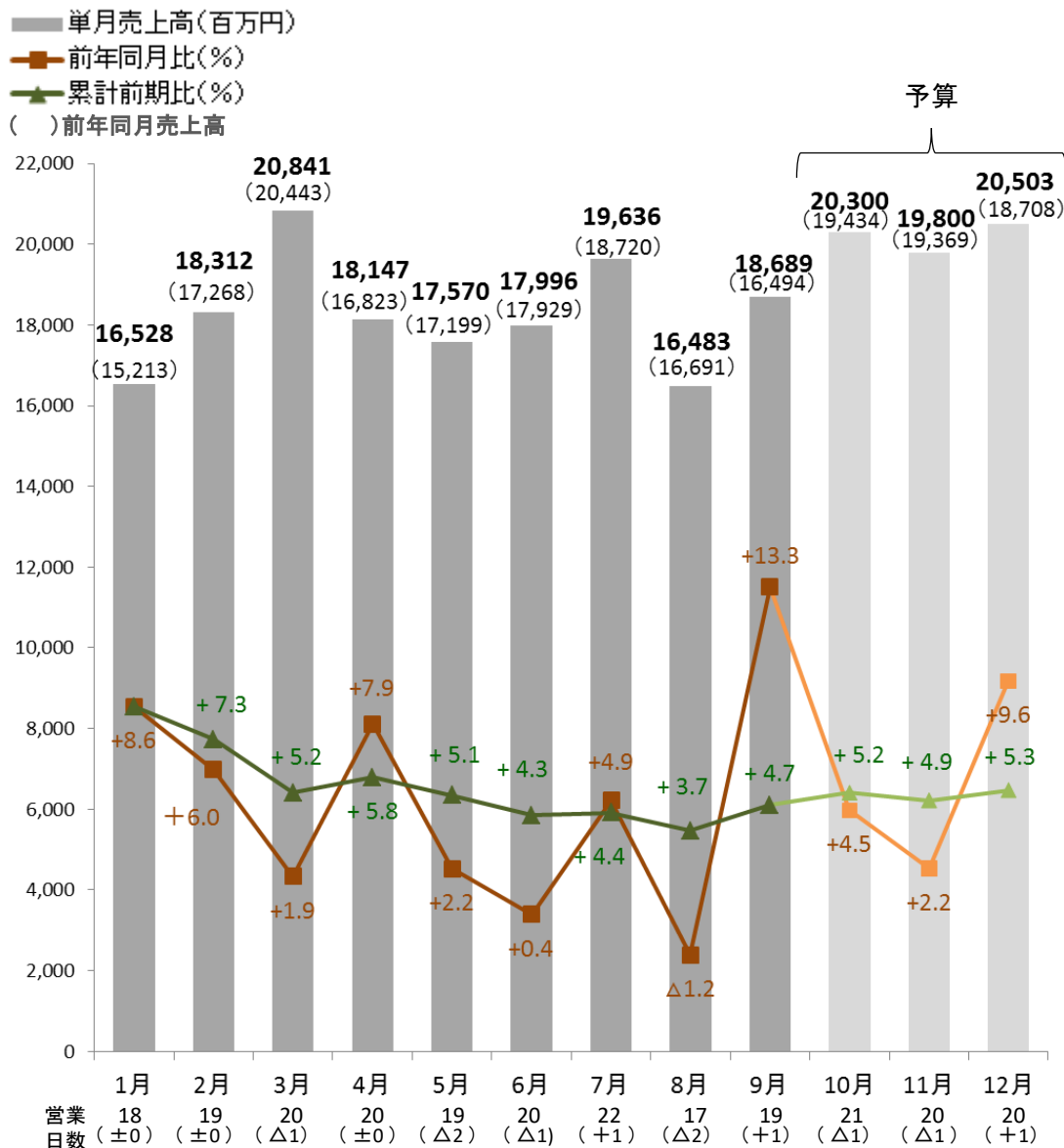
A-① 経営成績

- ・親単体の売上高：営業日数が前年より4日少ない中、前年同期比+4.7%、予算比では△0.5%。
- ・親単体の売上総利益率：前年同期比と変動なし。②計画値21.4%より△0.2pt。要因は下記①②によるもの。
 - ①トラスコ オレンジブックの販売価格の値上げにより、カタログ購入支援引当金の負担が減少。
 - ②PB商品の構成比が計画比△0.2ptであったこと、在庫商品の評価額の減少がマイナスに影響。
- ・親単体の販管費：物流機能強化の為の積極的な設備投資による減価償却費の増加、出荷個数増加や運賃値上げによる運賃荷造費の増加等が主要因。（販管費詳細はP19～20参照）

	【連結】		【親単体】							
	令和元年(2019)12月期 第3四半期		平成30年(2018)12月期 第3四半期		令和元年(2019)12月期 第3四半期					
	実績	率 (%)	実績	率 (%)	実績	率 (%)	前年 同期比 (%)	予算 【率(%)】	予算 差額 (百万円)	予算比 (%)
売上高	1,644億26百万円	—	1,567億84百万円	—	1,642億05百万円	—	+4.7	1,649億96百万円	△791	△0.5
売上 総利益	350億25百万円	21.3	332億75百万円	21.2	348億55百万円	21.2	+4.7	352億88百万円 【21.4】	△433	△1.2
販売費 及び 一般管理費	250億64百万円	15.2	235億14百万円	15.0	248億54百万円	15.1	+5.7	249億93百万円 【15.1】	△139 販管費詳細 P19～20	△0.6
営業利益	99億61百万円	6.1	97億60百万円	6.2	100億01百万円	6.1	+2.5	102億94百万円 【6.2】	△293	△2.9
経常利益	101億79百万円	6.2	99億59百万円	6.4	102億20百万円	6.2	+2.6	104億98百万円 【6.4】	△277	△2.6
四半期 純利益	68億75百万円	4.2	67億25百万円	4.3	69億19百万円	4.2	+2.9	70億85百万円 【4.3】	△166	△2.3
PB 売上高	—	—	323億92百万円	20.7	332億29百万円	20.2	+2.6	336億71百万円 【20.4】	△442 PB商品詳細 P14	△1.3
1株当たり 四半期 純利益	104円27銭	—	101円99銭	—	104円93銭	—	+2円 94銭	107円48銭	△2円 55銭	—

A-②【親単体】令和元年(2019)12月期 全社月次売上高推移/1日当たり売上高

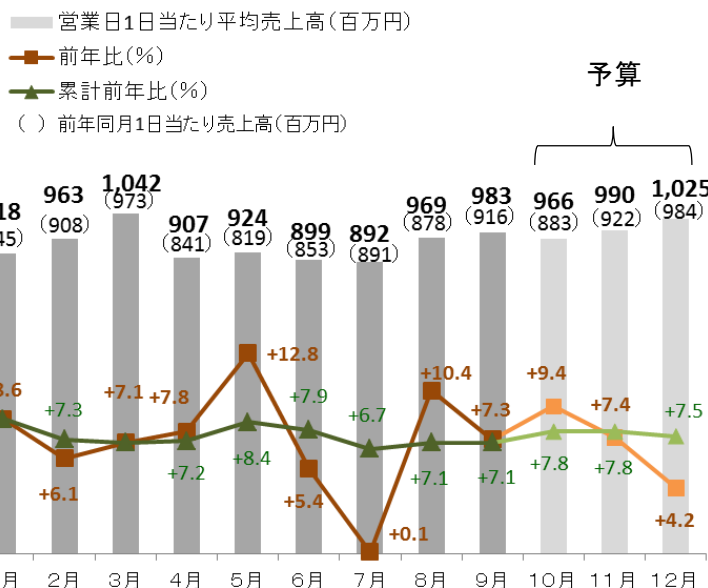
■全社合計



■全社1日当たり平均売上高推移

製造現場で使用されている消耗品は日々コンスタントに注文されるため、当社の売上高は営業日数の増減により影響を受けます。

また、企業の決算月である3月・12月は売上高が大きい繁忙期となっています。



B-① 【親単体】販売セグメント別売上高・売上総利益

■販売セグメント別売上高

販売ルート	平成30年(2018)12月期 第3四半期			令和元年(2019)12月期 第3四半期						
	売上高		売上 総利益率	売上高			売上総利益率		売上高	
	実績	構成比	実績	実績	構成比	前年同期比	実績	前年同期比	予算	予算比
ファクトリールート	1,240億80百万円	79.1%	20.8%	1,272億82百万円	77.5%	+2.6%	20.8%	±0	1,279億02百万円	△0.5%
eビジネスルート	223億16百万円	14.2%	25.2%	254億73百万円	15.6%	+14.1%	25.1%	△ 0.1	257億49百万円	△1.1%
ホームセンター ルート	96億87百万円	6.2%	17.9%	105億82百万円	6.4%	+9.2%	17.6%	△ 0.4	105億07百万円	+0.7%
その他(海外など)	7億00百万円	0.5%	20.2%	8億66百万円	0.5%	+23.8%	20.1%	△ 0.2	8億37百万円	+3.5%
全社合計	1,567億84百万円	100%	21.2%	1,642億05百万円	100%	+4.7%	21.2%	±0	1,649億96百万円	△0.5%

■ファクトリールート 前年同期比+2.6%

第2四半期までの流れと変わらず、設備投資の減速など景況感の影響を受け売上高の伸びは鈍化しています。主に大手製造業へ販売されている機械工具商ルートの売上高の伸びが鈍化しています。(9ページ参照)

■eビジネスルート 前年同期比+14.1%

内訳は、通販企業向けが前年同期比+14.6%、電子購買向けが前年同期比+12.8%です。(10ページ参照)
一部の通販企業様において景況感の影響により売上の減速がみられるものの、通販企業各社と当社との物流・システム連携の取り組みは引き続き順調に進んでおり、変わらず売上高は拡大傾向にあります。

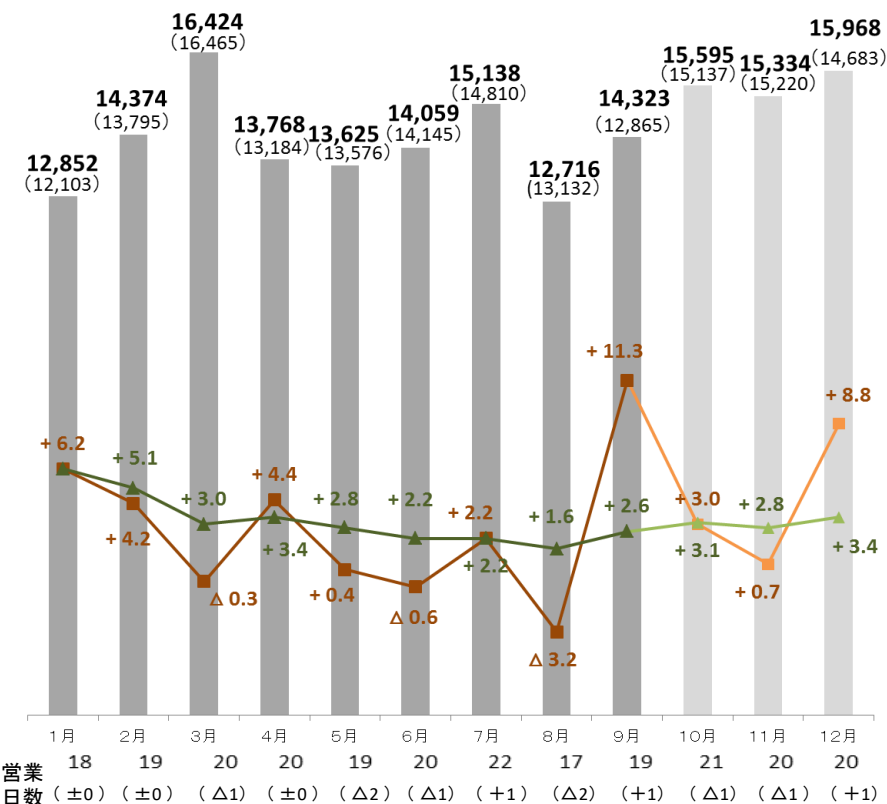
■ホームセンタールート 前年同期比+9.2%

プロショップへの売上高拡大は継続しており、また、ホームセンター様とも取り組みを強化しております。(11ページ参照)

B-② 【親単体】販売セグメント別月次推移表

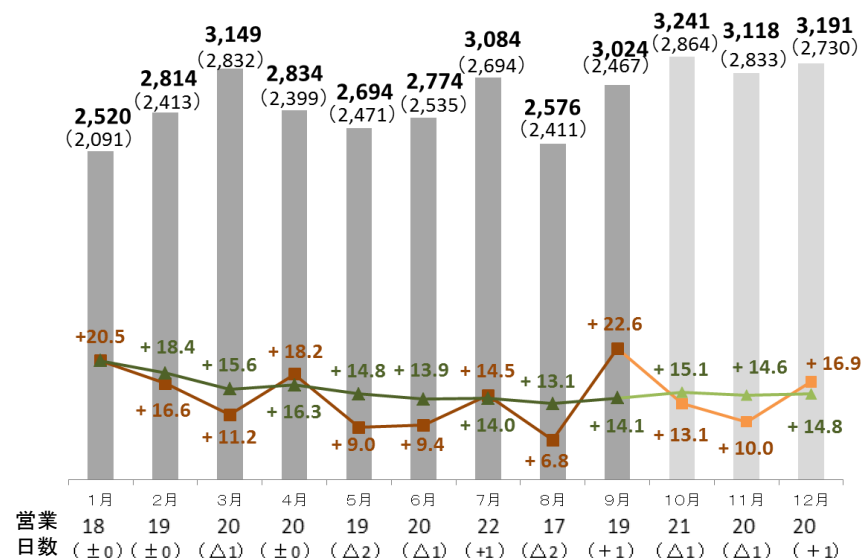
Ⅰファクトリールート月次推移表

売上高(百万円)
単月前年比(%)
累計前年比(%)
() 前年同月売上高



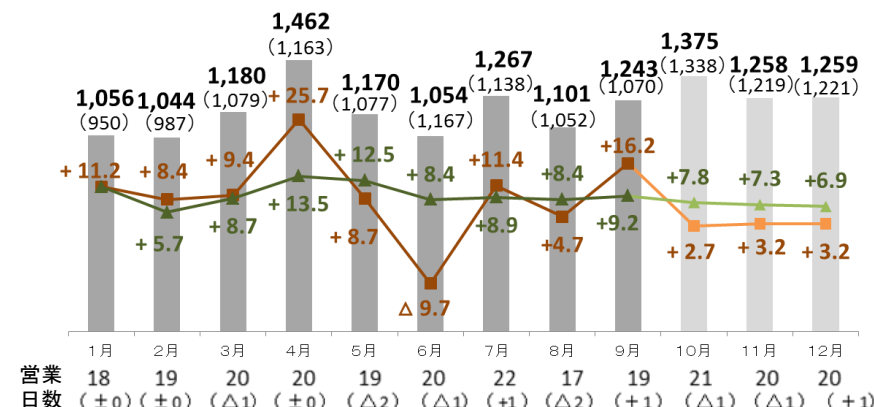
Ⅱeビジネスルート月次推移表

売上高(百万円)
単月前年比(%)
累計前年比(%)
() 前年同月売上高



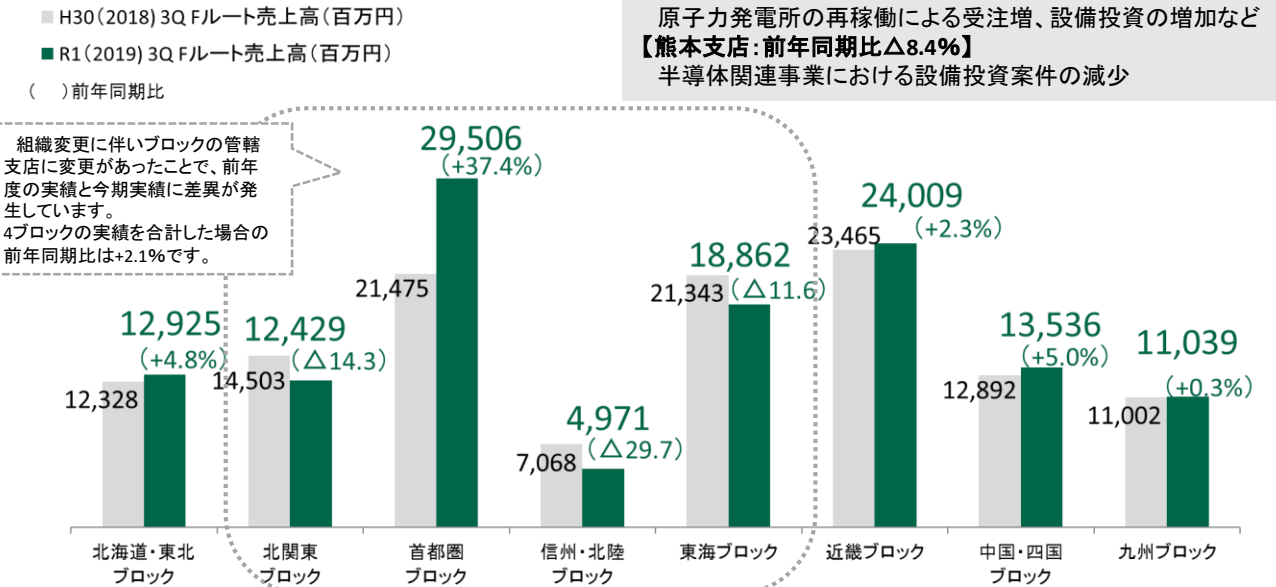
Ⅲホームセンタールート月次推移表

売上高(百万円)
単月前年比(%)
累計前年比(%)
() 前年同月売上高

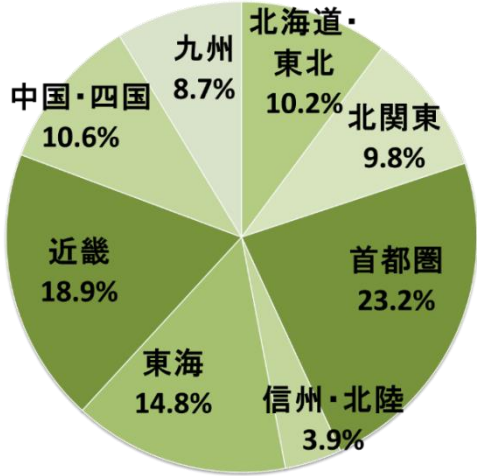


B-③ 【親単体】ファクトリールート ブロック別売上高・構成比・業種別売上高

■ファクトリールートブロック別売上高



■ファクトリールートブロック別売上高構成比



■ファクトリールート業種別売上高

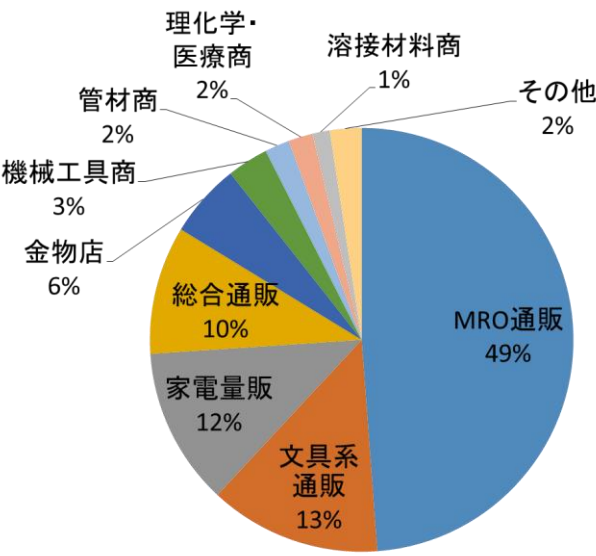
販売ルート	平成30年(2018)12月期 第3四半期			令和元年(2019)12月期 第3四半期						
	売上高		売上 総利益率	売上高			売上 総利益率		売上高	
	実績	構成比	実績	実績	構成比	前年同期比	実績	前年同期比	予算	予算比
機械工具商	658億74百万円	42.0%	20.6%	661億20百万円	40.3%	+0.4%	20.6%	+ 0.0	670億14百万円	△1.3%
溶接材料商	177億31百万円	11.3%	21.3%	182億25百万円	11.1%	+2.8%	21.3%	△ 0.1	182億98百万円	△0.4%
その他製造業関連 (理化学・伝導機・梱包材商など)	199億36百万円	12.7%	20.3%	204億28百万円	12.4%	+2.5%	20.4%	+ 0.2	203億82百万円	+0.2%
建設関連	205億36百万円	13.1%	21.3%	225億08百万円	13.7%	+9.6%	21.2%	△0.1	222億07百万円	+1.4%
ファクトリールート合計	1,240億80百万円	79.1%	20.8%	1,272億82百万円	77.5%	+2.6%	20.8%	+ 0.0	1,279億02百万円	△0.5%

B-④ 【親単体】eビジネスルート売上高推移・オレンジコマース連携数推移

■eビジネスルート売上高

販売ルート	平成30年(2018)12月期 第3四半期		令和元年(2019)12月期 第3四半期					
	売上高		売上高			売上総利益率		
	実績	構成比	実績	構成比	前年 同期比	実績	前年 同期比	
通販企業向け	169億97百万円	10.8%	194億76百万円	11.9%	+14.6%	24.4%	+ 0.0	
オレンジコマース 連携企業向け電子購買	53億18百万円	3.4%	59億97百万円	3.7%	+12.8%	27.2%	△ 0.6	
eビジネスルート合計	223億16百万円	14.2%	254億73百万円	15.6%	+14.1%	25.1%	△ 0.1	

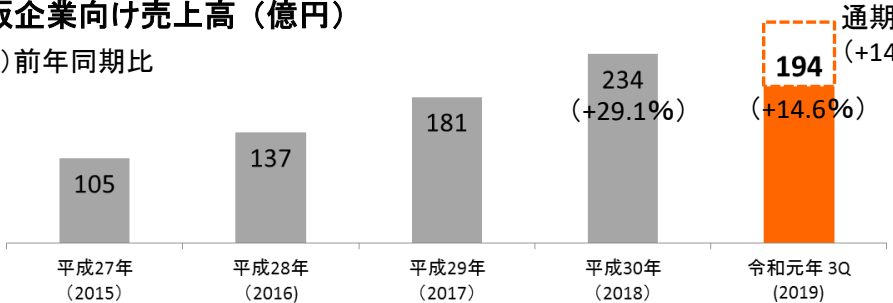
■通販企業向け売上高 業種別売上高比率



業種の見直しを行ったため、前年度の実績と差異がございます。

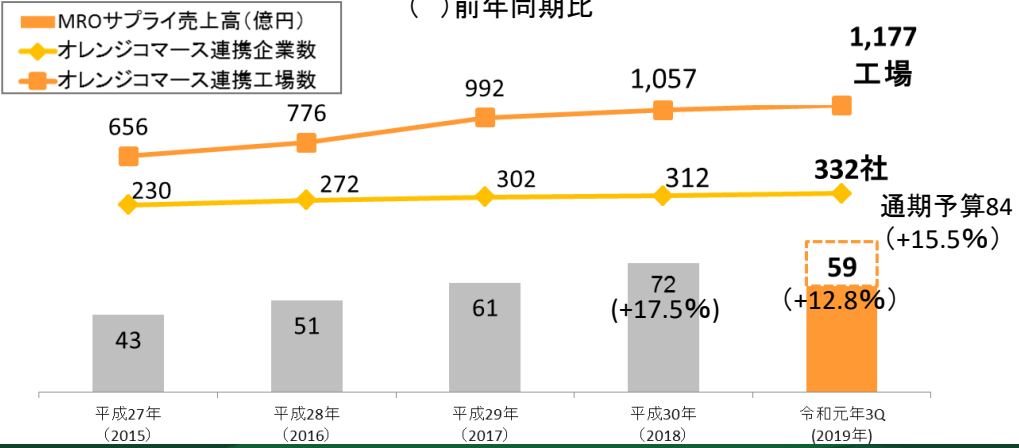
■通販企業向け売上高 (億円)

() 前年同期比



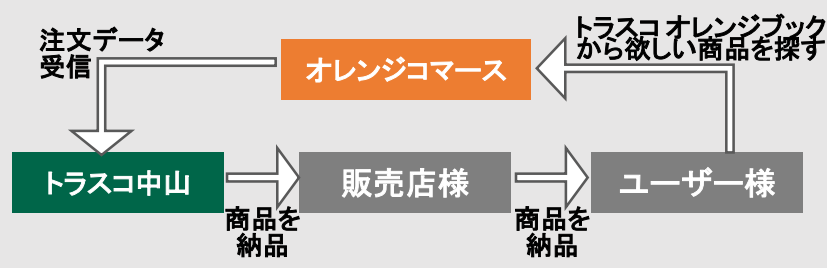
■オレンジコマース(電子購買)連携数推移

() 前年同期比



■電子購買とは

ユーザー様が仕入原価の低減や業務の効率化を目的として、購買の一連の流れをインターネット(システム)を利用して管理する方式。大手ユーザー様を中心に利用されています。



ユーザー様の購買システムとトラスコ中山のシステムを連携し物流は販売店様との三者間で行います。

B-⑤ 【親単体】ホームセンタールート得意先上位10社 取引高

プロツールの卸売業として、当社が得意とするプロツールの販売に特化し、ホームセンター各社にプロツール売場の提案を積極的に行っています。今後は、プロショップ・資材館のあるホームセンターとの取組を強化し、当社総合力をもって商品販売を行っていきます。

■ホームセンター得意先別売上高

単位: 百万円、%

順位	得意先名	平成30年 (2018)12月期 第3四半期	令和元年 (2019)12月期 第3四半期	前年 同期比
1	DCM ホダカ㈱(プロショップ)	1,279	1,448	+ 13.2
2	㈱ナフコ	1,128	1,104	△ 2.1
3	ロイヤルHC㈱	949	950	+ 0.1
4	コーナン商事㈱	822	927	+ 12.8
5	DCMカーマ㈱	862	884	+ 2.5
6	DCMホームマック㈱	860	852	△ 0.9
7	㈱カインズ	155	785	+ 405.6
8	㈱島忠	543	617	+ 13.6
9	DCMダイキ㈱	434	424	△ 2.3
10	㈱コメリ	399	414	+ 3.8
10社合計		8,154	9,062	+ 11.1
HCルート売上合計		9,687	10,582	+ 9.2
10社のルート売上占有率		84.2	85.6	

平成19年(2007)より実施している
お取引正常化について

- ①採算割れ取引の中止
- ②新規開店、周年セール等、限度を超えた特別協賛の中止
- ③当社が販売していない商品に対する人的応援のお断り

以上により、第43期 平成18年(2006)売上高 219億円が約100億円に落ち込みましたが、正しいルールに基づいた取引を行っています。

- DCM ホールディングスへの売上高
合計: 3,994 百万円 (前年同期比+1.7%)
【DCMカーマ㈱、DCMダイキ㈱、DCMホームマック㈱、DCMサンワ㈱、DCMくろがねや㈱、㈱ケーヨー、ホダカ㈱、㈱ホームマックニコット、】

各企業名の敬称を省略しております。

経営企画・広報IR課にて作成した参考値です。

B-⑥ 海外子会社の経営成績

■海外子会社の第3四半期の実績

単位: 百万円、%

		売上高	売上 総利益	販売費 一般管理費	営業利益	経常利益	四半期 純利益
トラスコナカヤマ タイランド 1バーツ=3.53円 (前年3.5円)	実績	569	139	106	33	33	33
	前年 同期比	+12.2	+18.9	+9.1	+66.8	+64.5	+64.5
トラスコナカヤマ インドネシア 1ルピア=0.0076円 (前年0.0076円)	実績	180	46	103	△57	△59	△59
	前年 同期比	+0.7	+3.1	+41.9	- ※	- ※	- ※

※前年実績マイナスのため計算をしていません。

【トピックス】平成31年(2019)3月9日
トラスコナカヤマ インドネシア新拠点 竣工

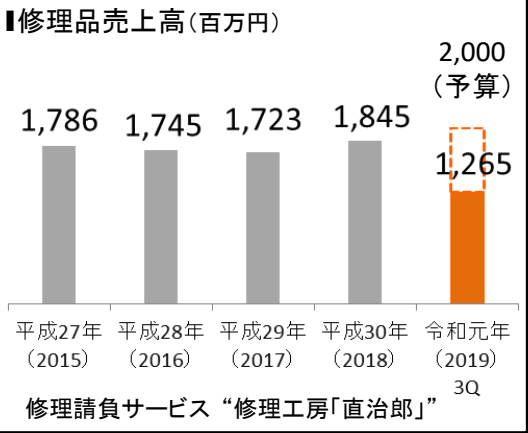
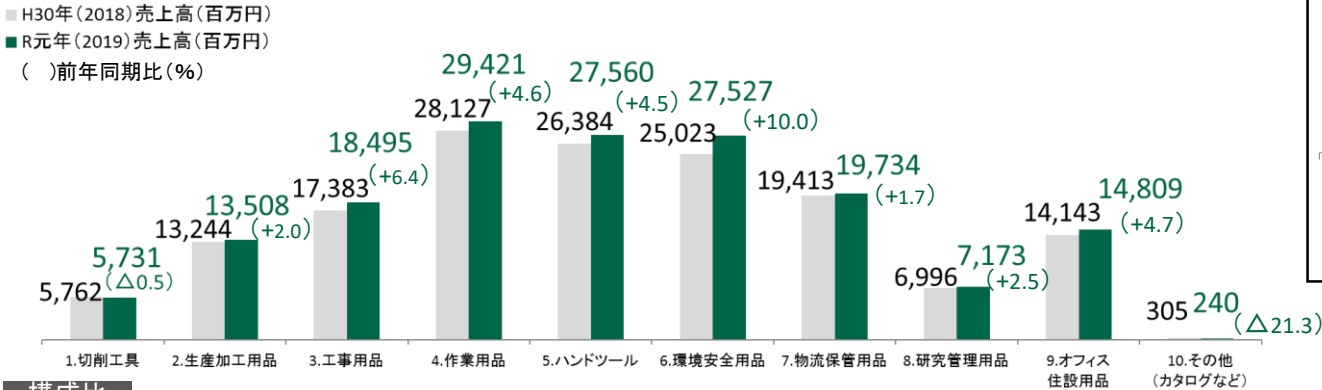


住所 : 西ジャワ州ブカシ県チカラン工業団地
ジャヤムクティ区ケナリラヤ通り36番 ZIPコード17815

敷地面積 : 16,177㎡(4,894坪)
延床面積 : 11,230㎡(3,155坪)
設備投資額 : 土地10億円／建物6.2億円
設計／施工 : 株式会社竹中工務店
従業員 : 18名(内トラスコ中山株式会社出向社員3名)
在庫アイテム数 : 59,357アイテム(2019年9月末時点)

B-⑦ 【親単体】商品分類別 売上実績

■大分類別売上高グラフと中分類内訳



構成比											
商品分類(大分類)	中分類	全社売上高	構成比	前年同期比	粗利率	商品分類(大分類)	中分類	全社売上高	構成比	前年同期比	粗利率
1.切削工具	切削工具	2,720	1.7	△3.6	10.0	6.環境安全用品	保護具	13,577	8.3	+12.2	25.3
	3.5 穴あけ・ネジきり工具	3,011	1.8	+2.4	21.8		安全用品	6,818	4.2	+5.0	26.4
2.生産加工用品	測定計測	6,740	4.1	+3.2	16.5		環境改善用品	1,572	1.0	△2.3	20.1
	8.2 メカトロニクス	2,755	1.7	+3.0	15.5		冷暖房用品	3,495	2.1	+22.6	17.0
	工作機工具	1,918	1.2	+2.1	21.4		防災・防犯用品	667	0.4	+4.1	21.4
	電動機械	2,093	1.3	△3.1	10.2		物置・エクステリア用品	1,395	0.8	+5.6	16.0
3.工事用品	油圧工具	1,484	0.9	+7.5	11.7	7.物流保管用品	荷役用品	5,519	3.4	+9.0	17.6
	11.3 ポンプ	2,505	1.5	△1.9	15.9		コンベヤ	956	0.6	△5.7	16.2
	溶接用品	1,483	0.9	+2.2	18.7		運搬用品	7,659	4.7	+0.3	22.2
	塗装・内装用品	1,718	1.0	+8.3	24.3		コンテナ・容器	2,759	1.7	△1.3	31.0
	土木建築	1,530	0.9	+16.5	13.2		スチール棚	2,839	1.7	△2.2	27.0
	はしご・脚立	2,384	1.5	+6.0	22.9	8.研究管理用品	ツールワゴン	811	0.5	△4.0	29.6
	配管・電設資材	2,562	1.6	+8.6	23.3		保管・管理用品	1,042	0.6	+3.0	32.0
4.作業用品	部品・金物・建築資材	4,827	2.9	+7.6	28.2		作業台	1,123	0.7	△0.7	27.8
	切断用品	1,019	0.6	+10.6	22.9		ステンレス用品	1,449	0.9	+2.1	18.7
	17.9 研削・研磨用品	5,450	3.3	+4.4	23.5		研究開発関連用品	2,745	1.7	+6.2	17.8
	化学製品	14,326	8.7	+6.4	22.5	9.オフィス住設用品	清掃用品	4,340	2.6	+1.5	22.0
	工場雑貨	2,633	1.6	+0.5	15.9		文具用品	1,396	0.9	+14.2	19.2
	梱包結束用品	3,852	2.3	+3.4	31.2		オフィス雑貨	1,922	1.2	+12.3	28.5
5.ハンドツール	16.8 キャスター	2,138	1.3	△1.5	18.4		電化製品	2,603	1.6	+1.1	23.4
	電動工具・用品	7,433	4.5	+3.9	14.5		OA事務用機器	1,246	0.8	+10.8	27.1
	空圧工具用品	5,055	3.1	+2.7	18.0		事務用家具	3,083	1.9	+2.1	24.8
	手作業工具	13,696	8.3	+5.0	21.4		インテリア用品	216	0.1	+4.1	20.3
	工具箱	1,375	0.8	+8.4	30.2	10.その他	全体	240	0.1	△21.3	-
							合計	164,205	100.0	+4.7	21.2

(単位:百万円、%)

●3工事用品の土木建築カテゴリでは、災害需要により発電機の売上が増加しており前年同期比+16.5%。

●6.環境安全用品の冷暖房用品のカテゴリでは、昨年のスポットエアコン等の夏物商材の需要増を鑑み、戦略的に昨年の倍以上の在庫を保有したことで、引き続き高需要な夏物商材の販売を拡大でき、前年同期比+22.6%。

B-⑧ 【親単体】プライベート・ブランド(PB)商品の売上実績

■PB分類別売上高の主な内訳

※その他ルートは除く

単位：百万円

	全体		ファクトリー		eビジネス		ホームセンター	
	構成比	20.2%	構成比	20.2%	構成比	25.9%	構成比	6.7%
	粗利率	35.7%	粗利率	35.7%	粗利率	36.5%	粗利率	29.8%
	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比
合計	33,229	+2.6%	25,655	+0.6%	6,607	+11.1%	709	+3.6%
切削工具	532	+5.0%	389	+3.4%	80	+7.1%	51	+11.2%
生産加工用品	1,188	+5.6%	901	+3.4%	252	+16.1%	14	△9.7%
工事用品	2,684	+3.2%	2,040	+1.3%	586	+13.4%	42	△8.3%
作業用品	5,737	+1.8%	4,680	+0.4%	959	+9.2%	56	+0.2%
ハンドツール	3,436	+1.3%	2,570	△0.8%	718	+10.3%	98	△4.3%
環境安全用品	5,674	+5.3%	4,520	+3.4%	1,051	+13.7%	81	+3.6%
物流保管用品	8,084	+0.9%	6,065	△1.2%	1,641	+9.5%	323	+0.3%
研究管理用品	2,724	+0.5%	2,180	△0.5%	511	+3.9%	2	-
オフィス住設用品	3,163	+4.9%	2,305	+1.2%	804	+16.5%	36	+240.8%
その他	2	△13.2%	0	-	0	-	2	-

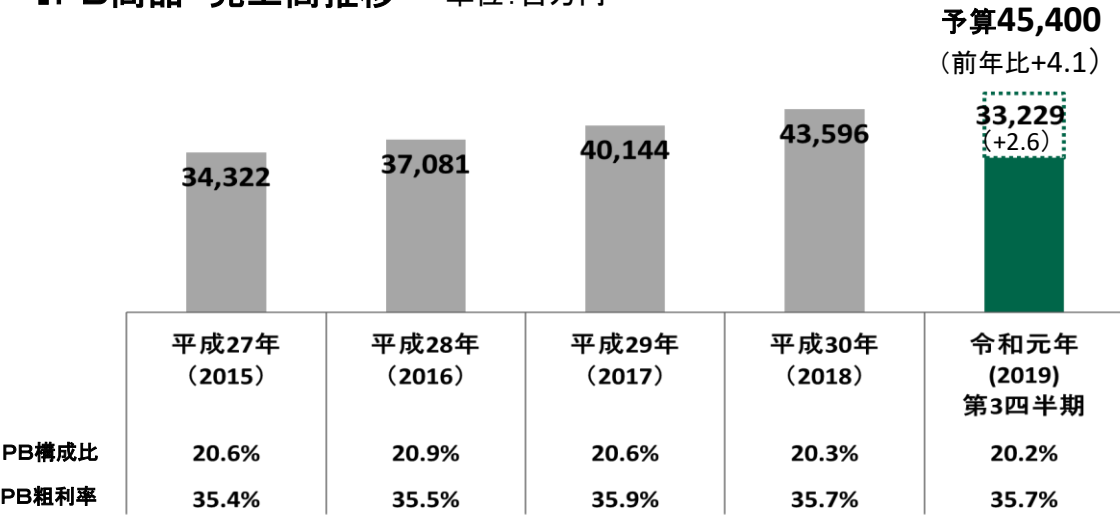
■プライベート・ブランド(PB)商品



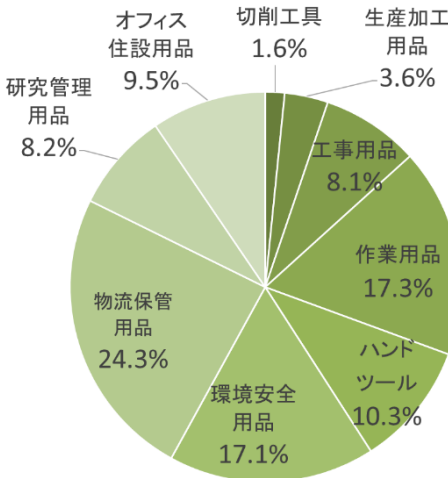
年間約5,000アイテムの新規商品を投入している自社企画開発商品。ナショナル・ブランド商品に比べ利益率が高く、売上高構成比は20.2%を占めています。



■PB商品 売上高推移 単位：百万円



■PB売上構成比

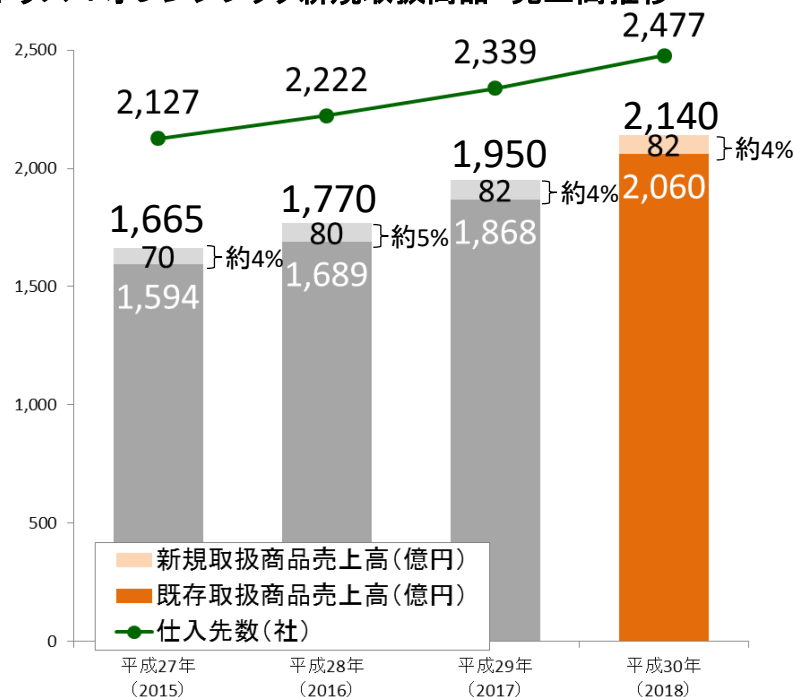


C-① 【親単体】仕入先数推移及び新規掲載商品売上高／在庫アイテム数及びヒット率

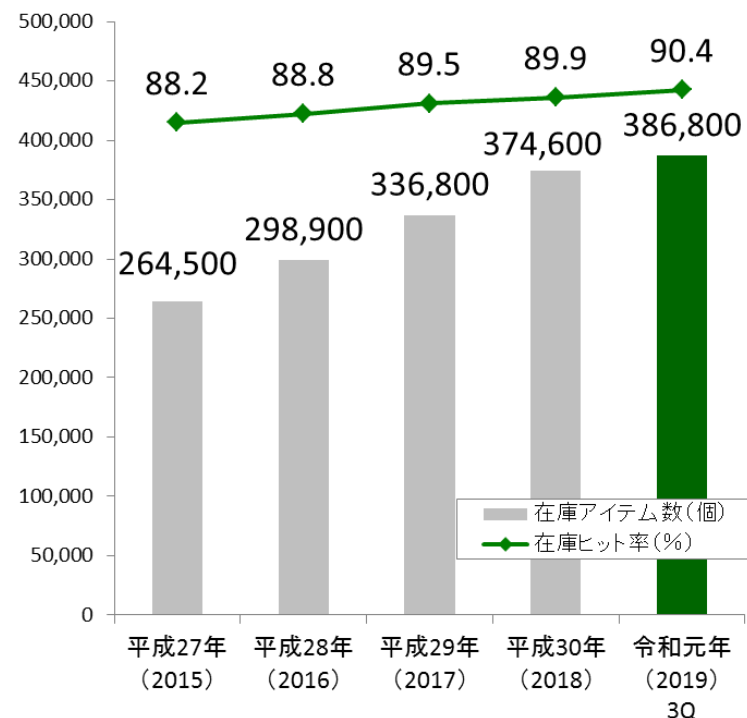
／販売口座数の推移

1、仕入先数の推移及び全社売上高における

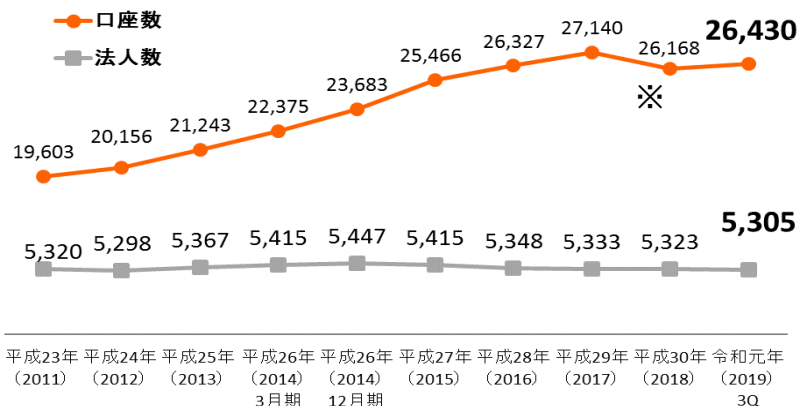
トラスコ オレンジブック新規取扱商品 売上高推移



2、在庫アイテム数及び在庫ヒット率の推移



3、販売口座数の推移



1、売上高のうち4%程度は、その年に商品カタログ「トラスコ オレンジブック」へ新規掲載された商品の売上高で構成されています。

2、在庫ヒット率＝在庫から出荷した商品の行数÷全注文行数
当初の目標であった90%を達成しました。

3、取引法人数は減少傾向にあります。売上増加のポイントである口座数は順調に増え続けています。
抹消法人数は年間100社程度です。
※平成30年(2018)の口座数減少は、ホームセンタールート取引先の取引終了による口座抹消が主な要因です。

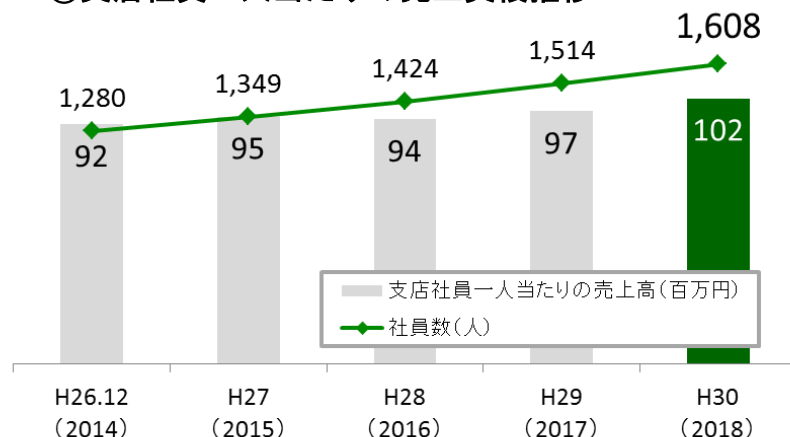
C-② 【親単体】システム稼働状況

Ⅰ①システム受注(FAX-OCR含む)実績

【ご参考】 令和元年(2019)9月末累計 照会行数:ドットクル約542件/日、WEBアクセス数約64,500件/日

受注実績	受注行数 (行)	行数占有率	占有率 前年同期比	受注金額 (百万円)	金額占有率	占有率 前年同期比
トラスコ オレンジブック.Com (販売店様、ユーザー様用) インターネット受発注	10,738,563	42.6%	+2.1	68,482	41.7%	+3.2
トラスコEDI 販売店様発注システムとのデータ連携	4,212,923	16.7%	+12.8	17,336	10.6%	+15.4
DOTKUL (ドットクル) FAX-OCR	275,104	1.1%	△19.7	1,316	0.8%	△39.1
オレンジコマース ユーザー様購買システムとの連携	478,528	1.9%	+46.1	2,935	1.8%	+37.6
EOS ホームセンター電子発注システム	5,141,585	20.4%	+9.3	9,743	5.9%	+13.3
計	20,846,703	82.7%	+6.0	99,814	60.8%	+6.5

Ⅱ②支店社員一人当たりの売上実績推移



※実績数値は、販管費(物流・本社部署人件費など)を加味した、支店社員一人当たりの売上高

システム受注化に伴う、業務効率の改善

- ①全社システム受注率82.7%
全ルートを受注行数のうち80%以上のご注文がシステムからの自動受注による売上高。
- ②支店社員一人あたりの売上高約102百万円

C-③ 【親単体】物流データ

■配達便・社内間配送便 台数

	台数	前年同期比
総配達便数	279台	△23台
備車便(契約配達便)	184台	△36台
自社配達便	95台	+13台
社内間配送便	38台	△1台
配達便・社内間輸送便 計	317台	△24台

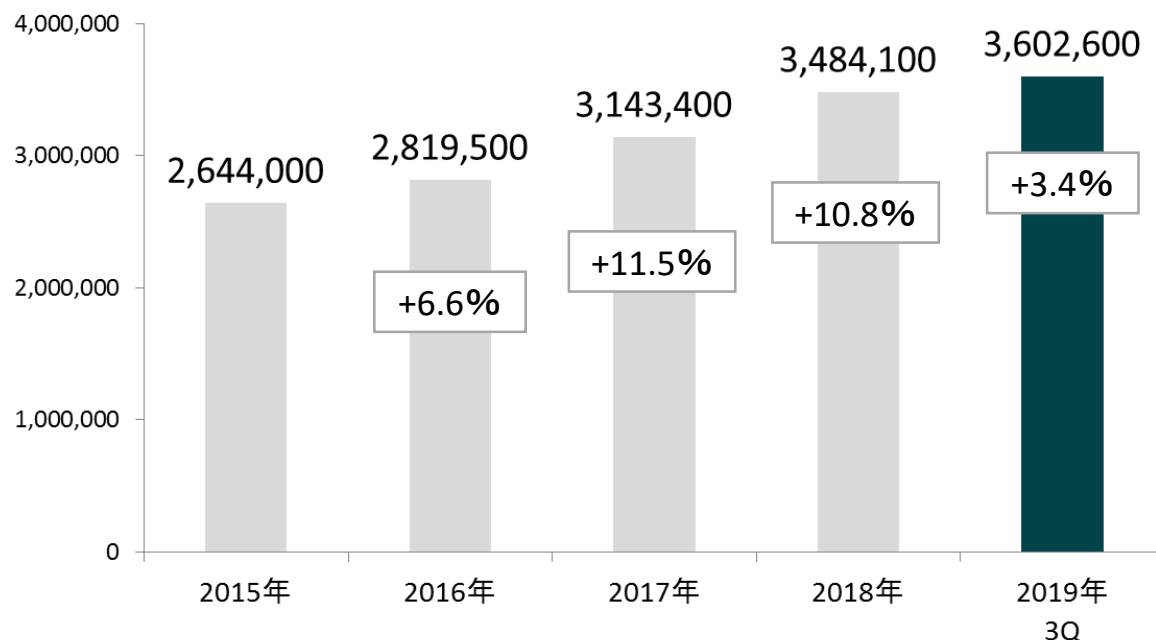
配達便について

積載量や配送ルートを効率化することで配達便・社内間配送便の減便をすすめ、台数の適正化を図っています。

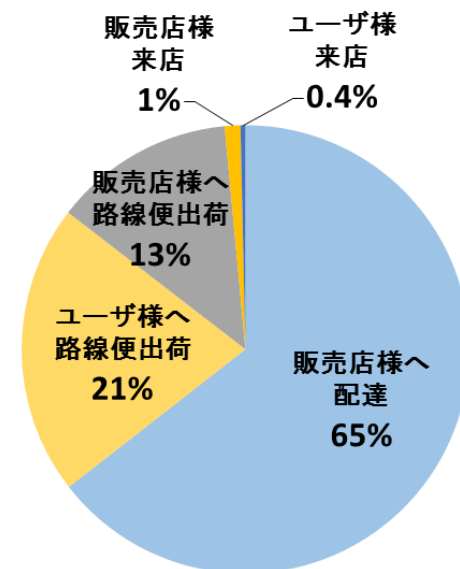
また、お客様へのサービス向上を目指し、自社配達便(当社社員による配達便)の台数を増やしています。現在の自社便化率は約30%、今後は自社便化率50%まで高めることを目標としています。

■物流センター一月平均入出荷件数の推移

(支店からの出荷は除く)



■納品区分(金額ベース)



D-① 【連結】財務諸表

…当期より連結決算開始の為、前年との数値等の比較は記載しておりません。

セグメント情報等

単位: 百万円、%

		令和元年(2019)12月期 第3四半期		
			売上高	経常利益又は 損失(△)
報告 セグメント	ファクトリー ルート	実績	127,295	7,884
		前年同期比	－	－
	eビジネス ルート	実績	25,473	2,310
		前年同期比	－	－
	ホームセンター ルート	実績	10,582	△21
		前年同期比	－	－
	海外ルート	実績	1,074	△142
		前年同期比	－	－
計	実績	164,426	10,030	
	前年同期比	－	－	
調整額			－	148
財務諸表計上額		実績	164,426	10,179
		前年同期比	－	－

1、経常利益の調整額148百万円は、調整額には賃貸物件の賃貸収入等、各報告セグメントに帰属しない利益が含まれています。

貸借対照表

令和元年(2019)9月30日現在
単位: 百万円、%

資産	負債・純資産
流動資産 76,520	流動負債 28,674
	固定負債 27,234
固定資産 103,906	純資産 124,517
	自己資本比率 69.0%
内、有形固定資産 92,114	
総資産 180,426	

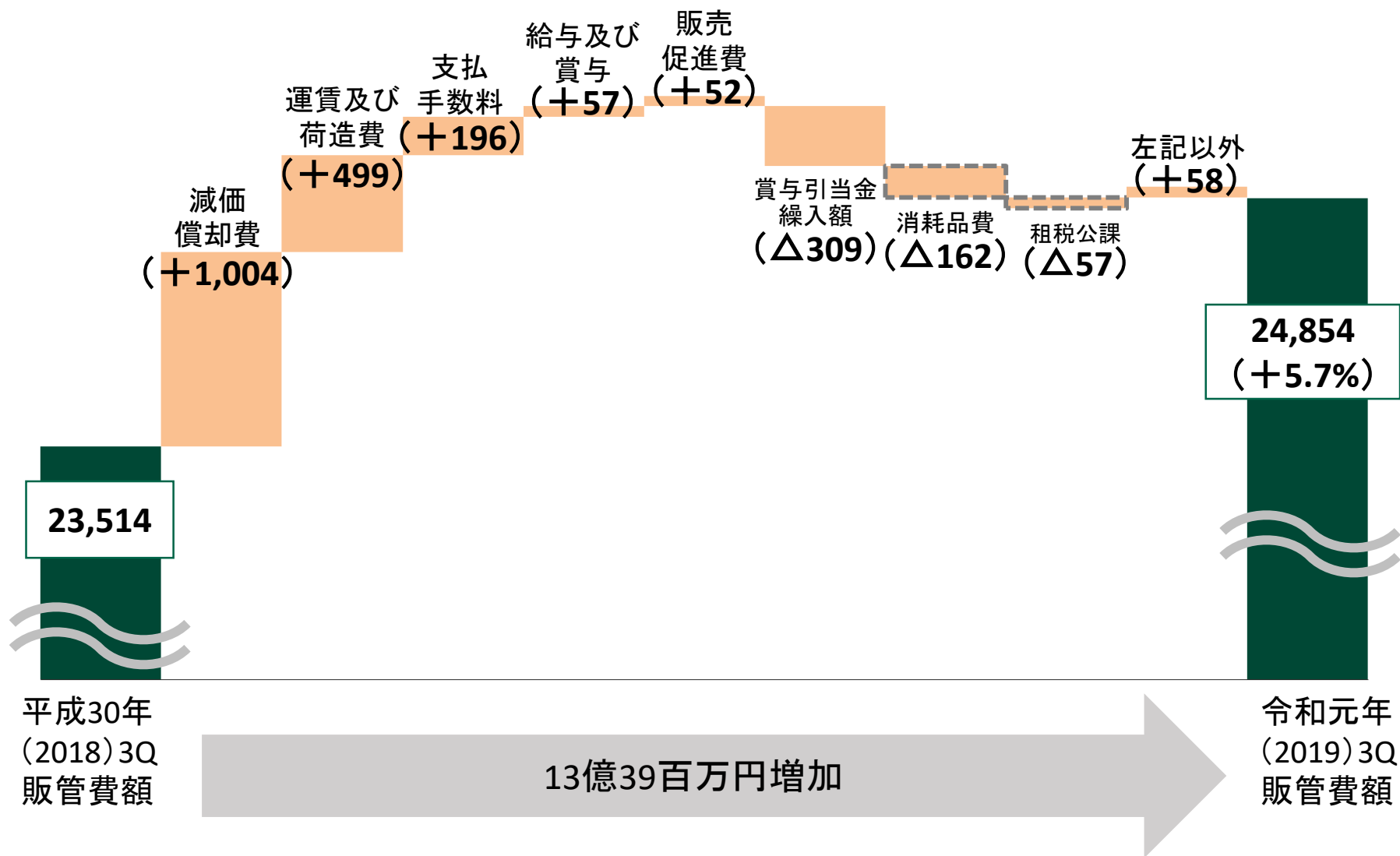
キャッシュ・フロー計算書

単位: 百万円

	令和元年(2019)12月期 第3四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,708
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,278
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,560
現金及び現金同等物に係る換算差額	3
現金及び現金同等物の増減額	△7,005
現金及び現金同等物の期首残高	12,448
現金及び現金同等物の期末残高	5,443

D-② 【親単体】販売費・一般管理費の主な増減内容

単位: 百万円、() 前年同期比



増減要因の詳細は次ページをご参照ください。

D-③ 販売費・一般管理費

ー【親単体】主な項目についてー
 () 前年同期比

■販売費及び一般管理費の詳細

単位: 百万円、%

		【連結】		【親単体】				
		令和元年(2019) 12月期 第3四半期		平成30年 (2018)12月期 第3四半期	令和元年(2019) 12月期 第3四半期		増減額	前年 同期比
		実績	率	実績	実績	率		
1	運賃及び荷造費	4,592	18.3	4,086	4,585	18.4	499	+12.2
2	広告宣伝費	543	2.2	535	543	2.2	8	+1.5
3	販売促進費	238	1.0	184	236	1.0	52	+28.4
4	車両費	176	0.7	177	169	0.7	△7	△ 4.2
5	役員報酬	326	1.3	279	326	1.3	46	+16.7
6	給与及び賞与	8,376	33.4	8,249	8,306	33.4	57	+0.7
7	賞与引当金繰入額	959	3.8	1,269	959	3.9	△309	△ 24.4
8	福利厚生費	1,730	6.9	1,676	1,713	6.9	36	+2.2
9	交際費	90	0.4	85	89	0.4	3	+4.5
10	旅費及び交通費	450	1.8	431	446	1.8	14	+3.3
11	通信費	271	1.1	256	269	1.1	12	+4.8
12	支払手数料	1,374	5.5	1,158	1,354	5.5	196	+17.0
13	消耗品費	449	1.8	607	444	1.8	△162	△ 26.8
14	水道光熱費	285	1.1	248	282	1.1	34	+13.9
15	租税公課	877	3.5	933	876	3.5	△57	△ 6.1
16	減価償却費	3,551	14.2	2,493	3,498	14.1	1,004	+40.3
17	借地借家料	499	2.0	484	489	2.0	5	+1.0
18	その他	270	1.1	358	262	1.1	△95	△ 26.8
計		25,064	-	23,514	24,854	-	1,339	+5.7

・売上拡大等による増加(+310百万円)
 路線便の出荷個数は+13%増加
 ・路線便の運賃値上等による影響
 (約+217百万円)
 ・備車(契約配達便)減便(△73百万円)
 台数 222台(△37台)社内間輸送便38台含む
 【参考】自社社員配達便 95台(+13台)

・カタログ「2020年度版トラスコ オレンジブック」のサイズ変更[B5⇒A4]に伴う費用
 レイアウト変更作業費用(+70百万円)
 データ製作費用(+77百万円)
 ・「トラスコ オレンジブック」社内使用分費用の増加(+24百万円)
 ・前期のトラスコ デジタルオレンジブック英語版製作費(△112百万円)

・社員+20名(主な内訳:キャリア社員+24名、ロジス社員+9名、エリア社員△13名)
 ・パートタイマー+17名
 ・達成報奨金の当期支給が無い影響(△167百万円)

・当期は業績連動型賞与の積立をしていないため。但し、前期は積立を12月に取り崩しているため、通期での影響は無くなります。

・システム関連保守点検費(+96百万円)
 ・社内PC関連費用(+49百万円)
 ・物流設備関連保守点検費(+33百万円)

・前期は物流センター「プラネット埼玉」の備品費用が発生していた影響(△175百万円)

・前期に取得した物流センター「プラネット埼玉」建物見積不動産取得税(△186百万円)

・物流センター「プラネット埼玉」建物、電気照明設備、物流機器など(+367百万円)／「プラネット東海」物流機器[140百万円]
 ・商品検索サイト「トラスコ オレンジブック.Com」リプレイス[318百万円]

D-④ 【連結】設備投資等の状況

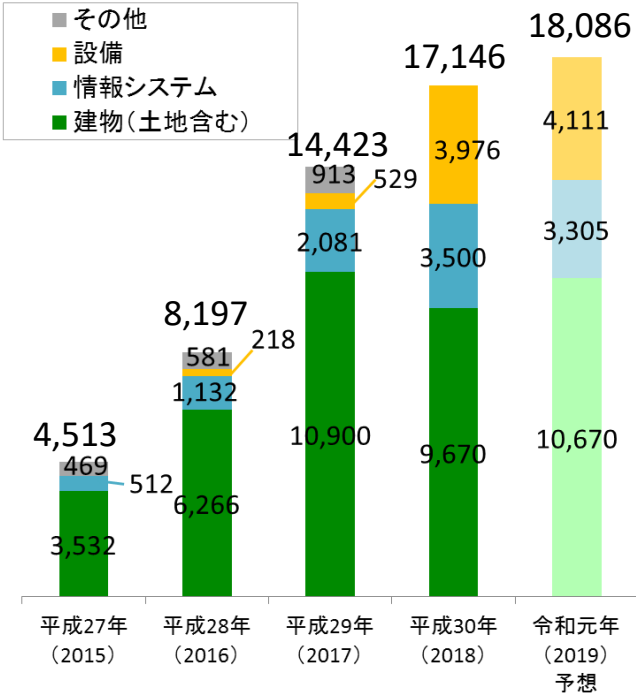
■主な設備投資の 実績と予定

主な設備投資 内訳		総投資 予定額	前期までの 支払済費用	令和元年(2019)12月期	
				1～3Q 投資実績額	4Q 投資予定額
建物	プラネット南関東 建替	9,084	2,957	3,256	1,628
	プラネット東北 増築	4,038	890	2,331	-
	プラネット北関東 増築	1,178	384	794	-
	主な建物合計	14,300		6,381	1,628
設備	プラネット埼玉 バトラー／オートストア	1,069	369	576	124
	プラネット東北 パケット自動倉庫／SAS／GAS／オートストア／ I-Pack／BOD／バトラー／パレットラック等	3,023	-	293	203
	プラネット南関東 パケット自動倉庫／SAS／オートストア／ケースCV／ 電動パレットラック等	2,341	-	499	140
	プラネット東海 パケット自動倉庫／SAS／GAS	1,279	592	687	-
	プラネット東関東 SAS／GAS／コンベア	891	492	399	-
	プラネット神戸 パケット自動倉庫／SAS／GAS／電動パレットラック等	864	45	819	-
	プラネット北関東 パレット自動倉庫	190	60	130	-
	プラネット滋賀 パケット自動倉庫／電動パレットラック等	263	22	42	199
	主な設備合計	9,920		3,445	666
システム	パラダイス(受発注システム) リプレイス	3,562	841	1,674	247
	SORA、Self、Zaicon2 リプレイス	1,094	72	690	32
	トラロジス、フェニックス(物流管理システム) リプレイス	236	126	110	-
	トラスコ AIオレンジレスキュー (商品検索システム) 開発費用・社外公開対応費用	248	157	91	-
	主なシステム合計	5,140		2,565	279
土地	西日本物流センター(大和郡山) 土地	3,113	-	302	-
	プラネット愛知(北名古屋) 土地	1,847	180	230	-
	プラネット東関東 隣地	654	-	654	-
	主な土地合計	5,614		1,186	-
海外	トラスコ ナカヤマ インドネシア 新社屋建物	618	-	618	-
その他		-	-	699	619
小計				14,894	3,192
年間設備投資金額				18,086	

単位:百万円

■設備投資額の推移

単位百万円



↑平成30年(2018)より「その他」に含めていた項目を
設備・情報システム・建物に振り分けています。

設備投資額に関して

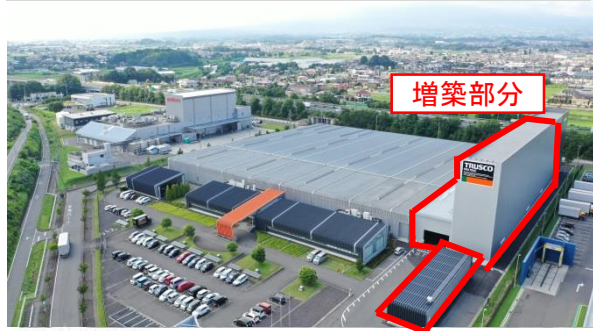
- ・設備投資予定額には、計画中のものも含まれている
為、投資金額は期中に変動する場合がございます。
- ・インドネシアルピアの為替レートは9月末時点の
0.0076円/IDRにて換算しています。

令和元年(2019)12月期の減価償却費
は4,779百万円(前年比+1,169百万円)
を予定しています。

D-⑤ 2019年度継続中の主な設備投資

プラネット北関東 竣工

2019年7月19日稼働



完成予想図

概要

- 住 所: 群馬県伊勢崎市
- 敷地面積10,000坪
- 延床面積4,702坪(増築前)
7,695坪(増築後)
- 増築棟 6階建
- 投資予定総額: 13.6億円
(建物・設備)
- 在庫アイテム数: 約14.2万アイテム
目標アイテム数: 23万アイテム
- 新規導入設備:
パレット自動倉庫(1,880パレット収納可)
危険物保管庫

プラネット東北 増築

完成予定: 2020年5月



完成予想図

概要

- 住 所: 宮城県仙台市
- 敷地面積: 3,905坪
- 延床面積: 3,231坪(増築前)
8,587坪(増築後)
- 増築棟 6階建
- 投資予定総額: 70億円
(建物・設備)
- 在庫予定アイテム数: 50万アイテム
- 導入予定設備:
バケット自動倉庫／オートストア／
バトラー／SAS／GAS／I-Pack

プラネット南関東 建替え

完成予定: 2020年8月



完成予想図

概要

- 住 所: 神奈川県伊勢原市
- 敷地面積: 3,662坪
- 延床面積: 7,885.3坪
- 構 造: 地下1階(駐車場)、
地上4階建、免震構造
- 投資予定総額: 114億円
(建物・設備)
- 在庫予定アイテム数: 50万アイテム
- 導入予定設備:
バケット自動倉庫／オートストア／
SAS／ケースCV／電動パレットラック

E-① 経営計画

令和元年(2019)8月1日に業績予想の修正を発表いたしました。

		第56期 平成30年(2018)12月期			第57期 令和元年(2019)12月期				
		【個別】			【連結】		【親単体】		
		実績(個別) (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	予算 (百万円)	構成比 (%)	予算 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)
売 上 高		214,297	100.0	109.8	225,894	100.0	225,600	100.0	105.3
	ファクトリールート	169,122	78.9	107.4	-	-	174,800	77.5	103.4
	eビジネスルート	30,745	14.3	126.1	-	-	35,300	15.6	114.8
	ホームセンタールート	13,466	6.3	108.6	-	-	14,400	6.4	106.9
	その他(海外)	963	0.5	105.3	-	-	1,100	0.5	114.2
1日当たり売上高		892	-	110.8	-	-	960	-	107.5
実働稼働日数		240日	-	△2日	-	-	235日	-	△5日
売上総利益		45,491	21.2	109.9	48,172	21.3	47,950	21.3	105.4
	ファクトリールート	35,152	20.8	107.0	-	-	36,360	20.8	103.4
	eビジネスルート	7,738	25.2	125.3	-	-	8,830	25.0	114.1
	ホームセンタールート	2,406	17.9	110.6	-	-	2,540	17.6	105.6
	その他(海外)	194	20.2	109.2	-	-	220	20.0	113.4
販売費及び一般管理費		31,127	14.5	114.8	33,993	15.0	33,700	14.9	108.3
営業利益		14,364	6.7	100.6	14,178	6.3	14,250	6.3	99.2
経 常 利 益		14,642	6.8	100.4	14,428	6.4	14,500	6.4	99.0
当 期 純 利 益		9,722	4.5	95.6	9,703	4.3	9,750	4.3	100.3
1株当たり当期純利益		147円44銭	-	△6円84銭	147円14銭	-	147円85銭	-	+41銭
1株当たり配当金		37円	-	△2円	37円	-	-	-	-
プライベート・ブランド商品売上高		43,596	20.3	108.6	-	-	45,400	20.1	104.1
	ファクトリールート	34,191	20.2	104.8	-	-	35,160	20.1	102.8
	eビジネスルート	8,147	26.5	127.7	-	-	8,830	25.0	108.4
	ホームセンタールート	928	6.9	105.4	-	-	1,080	7.5	116.4
	その他(海外)	328	34.1	122.8	-	-	330	30.0	100.6
PB商品粗利率		35.7	-	-	-	-	35.9	-	-
PB商品数		56,500	-	112.5	-	-	58,700	-	103.9
商品在庫金額		37,000	-	116.2	-	-	43,100	-	116.5
社員数		1,608	-	105.9	-	-	1,720	-	107.0
パートタイマー人数		1,111	-	105.9	-	-	1,125	-	101.3
減価償却費		3,610	-	130.2	-	-	4,779	-	132.4

◆一第58期一令和2年(2020)の見込みについて

令和元年(2019)5月13日に発表した経営計画では、令和2年(2020)の見込みも掲載しております。

しかし、景況感の減速により今後の業績の読みづらい状況が続いていることから、期末に改めて開示させていただきます。
弊社の物流能力・在庫能力を強化してきたことによる競争優位性に変化はありません。

◆予算のたて方について

「全国の支店長が策定した支店年間予算」の合計を全社予算として採用しています。
マーケットを熟知した支店長が、人員配置を含めた戦略を練り実行し、自身が最終責任をとるという意味で予算策定をしています。
今後も支店長予算の集計が予算となるため、每期計画の見直しが入ります。

この中期経営計画は本資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは異なる可能性があります。

参考資料①—【親単体】株式情報

株式の情報

単位:名

	平成28年 (2016) 12月末	平成29年 (2017) 6月末	平成29年 (2017) 12月末	平成30年 (2018) 6月末	平成30年 (2018) 12月末	令和元年 (2019) 6月末
株主合計	18,462	14,497	25,365	16,719	29,997	19,776
単元株主	17,744	13,821	24,758	16,038	29,409	17,249
単元未満株主	718	676	607	681	588	691
金融機関・証券会社	65	73	71	66	63	73
国内法人	602	552	628	566	657	563
外国法人等	196	174	198	203	228	210
個人その他	17,599	13,698	24,468	15,884	29,049	18,930

株式分割について

平成29年(2017)1月1日を効力発生日として、当社普通株式1株につき、2株の割合をもって株式分割を実施しました。

ROE推移

単位: %

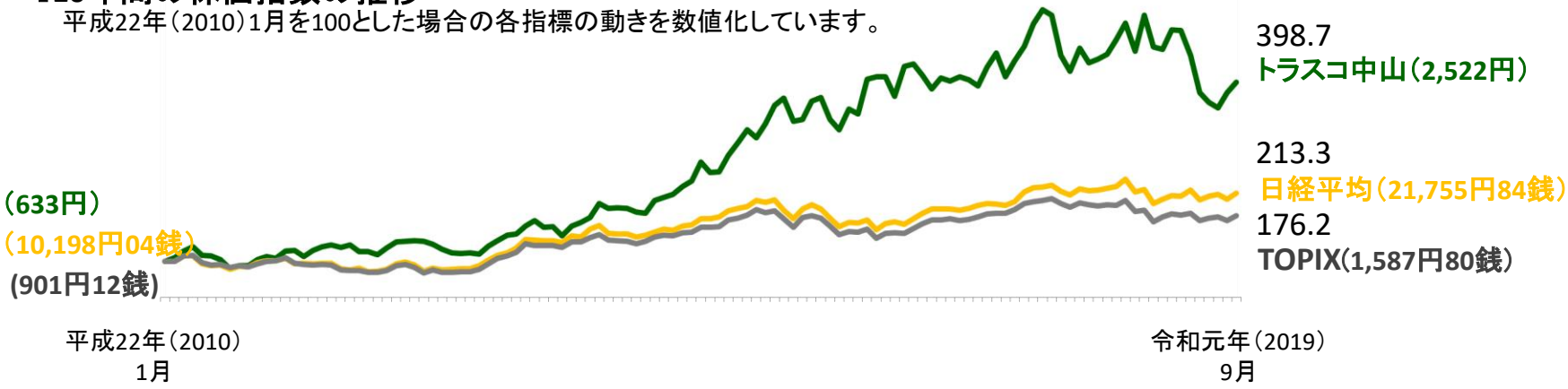
	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019) 予想
ROE	8.7	9.8	9.3	8.3	7.8

＜ROEに対する考え方＞

当社では、企業価値向上のための継続的な投資をすることで利益を拡大し、長期的かつ安定的に上昇させることが重要だと考えています。お客様の利便性向上を大切に、事業の結果としてROEが高まるというのが本来の姿であると考えています。

10年間の株価指数の推移

平成22年(2010)1月を100とした場合の各指標の動きを数値化しています。



参考資料②－業界での指数比較

■同業界の商社、直販企業(上場企業)の業績

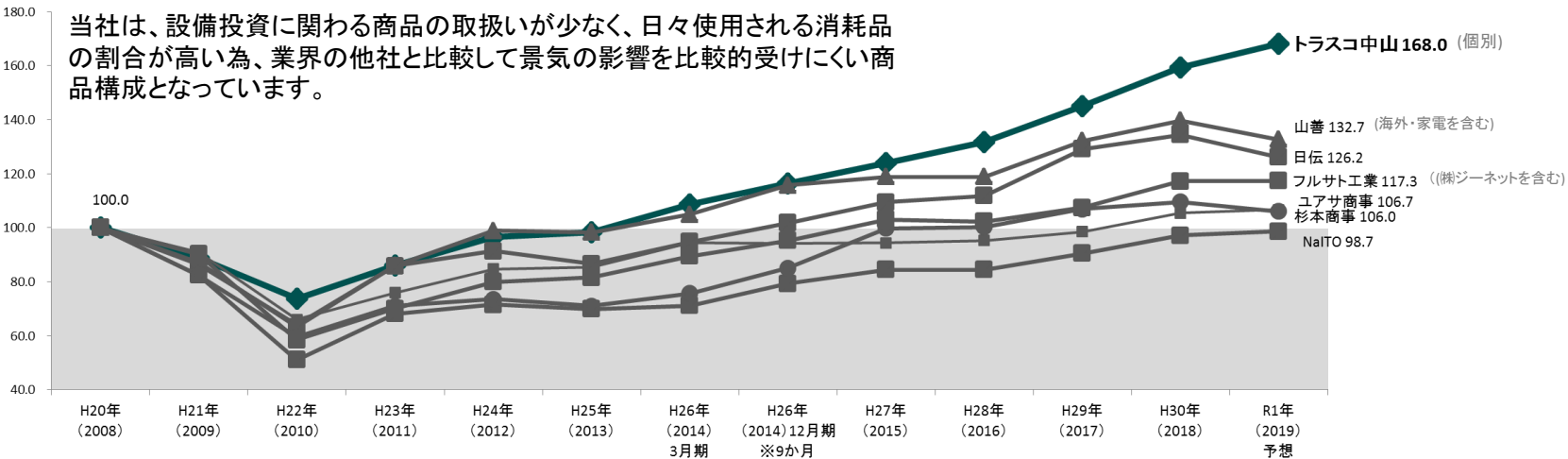
機械工具業界の商社には下記のような企業がございますが、卸売業・小売業で事業展開が異なり、それぞれ取扱う主力商品も異なります。
当社は工作機械などの大型機械の取扱い無く、消耗品の取扱いが中心です。

卸売	単位: 百万円、%、敬称略		
	令和2年(2020年) -予想-		
	決算月	売上高	前年比
(株)山善	3月	500,000	△ 5.0
ユアサ商事(株)	3月	500,000	+ 1.3
(株)日伝	3月	117,000	△ 6.1
フルサト工業(株)	3月	108,000	+ 0.1
(株)NaITO	2月	50,800	+ 1.6
杉本商事(株)	3月	43,950	△ 3.2
トラスコ中山(株)	12月	225,894	+ 5.4
7社合計		1,545,644	△ 1.1

小売	単位: 百万円、%、敬称略		
	令和2年(2020年) -予想-		
	決算月	売上高	前年比
(株)ミスミグループ	3月	326,500	△ 1.6
(株)MonotaRO	12月	136,258	+ 24.4

※連結決算を発表している会社は連結決算の数値を記載しています。
※各数値は令和元年(2019)10月28日時点で公表されている実績及び予想を記載しています。

■同業界の商社との売上高指数比較 (％)



※指数基準: 平成20年(2008)を100とする。平成20年3月期は当社売上高1,344億円とリーマンショック前の過去最高額を記録した年です。
※令和元年(2019)10月28日現在公開のデータをもとに経営企画・広報IR課にて算出した数値です。
※平成26年12月期のトラスコ中山指数は、決算期変更により9か月の変則決算であったため、12か月に換算した売上高1,563億円をもとに計算した参考値です。

参考資料③－【連結】令和元年(2019) 12月期 四半期毎の実績・予算

■令和元年(2019)12月期【累計】

単位:百万円

	第1四半期				第2四半期				第3四半期				通 期			
	実績				実績				実績				予算			
	本社	タイ	インドネシア	計	本社	タイ	インドネシア	計	本社	タイ	インドネシア	計	本社	タイ	インドネシア	計
売上高	55,682	194	60	55,781	109,396	376	109	109,566	164,205	569	180	164,426	225,600	700	309	225,894
売上総利益	11,931	48	16	11,996	23,622	92	29	23,737	34,855	139	46	35,025	47,950	165	80	48,172
販売費及び一般管理費	8,308	34	28	8,381	16,637	67	70	16,776	24,854	106	103	25,064	33,700	150	144	33,993
営業利益	3,622	14	△ 12	3,614	6,984	25	△ 41	6,960	10,001	33	△ 57	9,961	14,250	14	△ 63	14,178
経常利益	3,677	14	△ 13	3,672	7,121	25	△ 43	7,102	10,220	33	△ 59	10,179	14,500	14	△ 63	14,428
当期純利益	2,515	14	△ 13	2,505	4,831	25	△ 43	4,807	6,919	33	△ 59	6,875	9,750	10	△ 63	9,703

実績・予算の合計は連結調整仕訳(親子会社間の内部取引の消去等)を考慮した金額

参考資料④－【親単体】令和元年(2019)12月期 四半期毎の実績・予算

■令和元年(2019) 12月期【四半期】

単位:百万円、%

	第1四半期 (△1日)			第2四半期 (△3日)			第3四半期 (±0日)			第4四半期 (△1日)		
	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比
売上高	55,682	100.0	+5.2	53,713	100.0	+ 3.4	54,808	100.0	+ 5.6	60,603	100.0	+ 5.4
売上総利益	11,931	21.4	+5.4	11,690	21.8	+ 2.6	11,232	20.5	+ 6.4	12,661	20.9	+ 3.6
販売費及び一般管理費	8,308	14.9	+11.2	8,328	15.5	+ 0.6	8,216	15.0	+ 5.9	8,706	14.4	+ 14.4
営業利益	3,622	6.5	△6.0	3,362	6.3	+ 8.0	3,016	5.5	+ 8.0	3,955	6.5	△ 14.1
営業外収益	553	1.0	+6.2	584	1.1	+ 2.1	589	1.1	+ 2.2	556	0.9	△ 6.8
営業外費用	498	0.9	+4.8	502	0.9	+ 1.1	506	0.9	+ 1.5	509	0.8	△ 1.5
経常利益	3,677	6.6	△5.7	3,443	6.4	+ 8.0	3,098	5.7	+ 8.0	4,001	6.6	△ 14.5
特別利益	0	0.0	-	14	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-
特別損失	0	0.0	-	0	0.0	-	26	0.0	-	0	0.0	△100.0
当期純利益	2,515	4.5	△4.7	2,316	4.3	+ 8.3	2,087	3.8	+ 7.2	2,664	4.4	△ 11.1
P B	11,202	20.1	+4.4	11,028	20.5	+ 1.7	10,997	20.1	+ 1.8	11,728	19.4	+ 4.7

■令和元年(2019) 12月期【累計】

単位:百万円、%

	第1四半期 (△1日)			第2四半期 (△4日)			第3四半期 (△4日)			通 期 (△5日)		
	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年比
売上高	55,682	100.0	+5.2	109,396	100.0	+4.3	164,205	100.0	+4.7	225,600	100.0	+5.3
売上総利益	11,931	21.4	+5.4	23,622	21.6	+4.0	34,855	21.2	+4.7	47,950	21.3	+5.4
販売費及び一般管理費	8,308	14.9	+11.2	16,637	15.2	+5.6	24,854	15.1	+5.7	33,700	14.9	+8.3
営業利益	3,622	6.5	△6.0	6,984	6.4	+0.2	10,001	6.1	+2.5	14,250	6.3	△0.8
営業外収益	553	1.0	+6.2	1,137	1.0	+4.0	1,726	1.1	+3.4	2,250	1.0	△0.7
営業外費用	498	0.9	+4.8	1,000	0.9	+2.9	1,507	0.9	+2.4	2,000	0.9	+0.6
経常利益	3,677	6.6	△5.7	7,121	6.5	+0.4	10,220	6.2	+2.6	14,500	6.4	△1.0
特別利益	0	0.0	-	14	0.0	-	14	0.0	-	14	0.0	-
特別損失	0	0.0	-	0	0.0	-	26	0.0	△4.4	38	0.0	△87.1
当期純利益	2,515	4.5	△4.7	4,831	4.4	+1.1	6,919	4.2	+2.9	9,750	4.3	+0.3
P B	11,202	20.1	+4.4	22,231	20.3	+3.0	33,229	20.2	+2.6	45,400	20.1	+4.1

参考資料⑤－会社データ

■社員数【連結】 令和元年(2019)9月末現在 単位:人

	女	男	合計	前年同月比
役員	0	12	12	+4
執行役員	0	2	2	△5
キャリア	190	433	623	+24
エリア	257	315	572	△13
サポート	28	4	32	+3
スペシャリスト	16	16	32	△2
ロジス	78	265	343	+9
契約社員	1	29	30	+4
現地法人	21	20	41	+4
健康保険組合出向者	1	1	2	+2
中山財団出向者	0	0	0	△1
社員計	592	1,085	1,677	+25
パート	841	275	1,116	+17
従業員計	1,433	1,372	2,805	+46

女性社員比率35.3%／女性セールス88人／
女性キャリア比率32.1%(男性39.9%) ※パートタイマーの人数は実際の雇用人数

■入社者数および退職者数 ※パートタイマー除く 単位:人、%

	平成27年 (2015)		平成28年 (2016)		平成29年 (2017)		平成30年 (2018)		令和元年 (2019)9月末	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
社員数	404	945	512	959	510	1,004	557	1,051	592	1,085
	1,349		1,471		1,514		1,608		1,677	
入社者	38	56	70	33	59	67	63	72	52	56
	94		103		126		135		108	
退職者	8	24	20	18	18	18	20	26	35	29
	32		38		36		46		64	
離職率	1.9	2.5	3.8	1.8	3.4	1.8	3.5	2.4	5.6	2.6
	2.3		2.5		2.3		2.8		3.7	

■倒産による回収不能金額 単位:万円

	平成26年 (2014) 12月期	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)
回収不能金額 (万円)	0	0	35	0	4

■平均年齢・年収【親単体】 単位:歳、万円

	平均年齢			平均年収		
	女	男	全体	キャリア	エリア	全体
平成30年 (2018)	30.9	42.1	38.2	804	680	701
平成29年 (2017)	30.7	42.7	38.6	805	696	715
平成28年 (2016)	30.6	43.5	39.3	757	651	674
平成27年 (2015)	30.9	43.3	39.6	727	630	660
平成26年 (2014)	30.5	43.1	39.4	716	612	641

※全体平均年収は執行役員を含み、退職金「ファイナンシャルボンド」を除く金額
※平成26年度より業績連動型賞与を支給開始。

■拠点数【連結】 令和元年(2019)9月末現在

本社	2か所
支店	70か所
物流センター	24か所
海外拠点	3か所
合計	99か所

■在庫廃棄金額及び在庫金額の推移

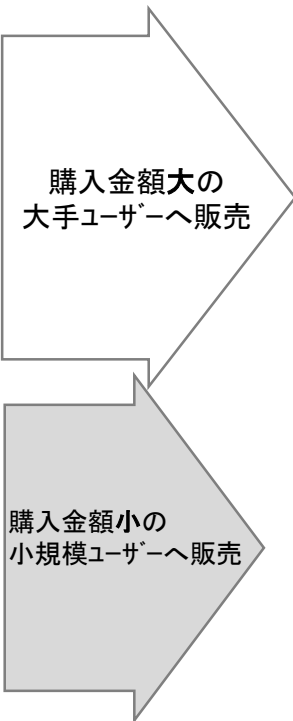
	平成26年 (2014)	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)
廃棄金額(百万円)	27	50	32	41	39
在庫金額(億円)	217	250	290	318	370
廃棄率(%)	0.12	0.20	0.11	0.13	0.11

参考資料⑥ーユーザー別販売ルート

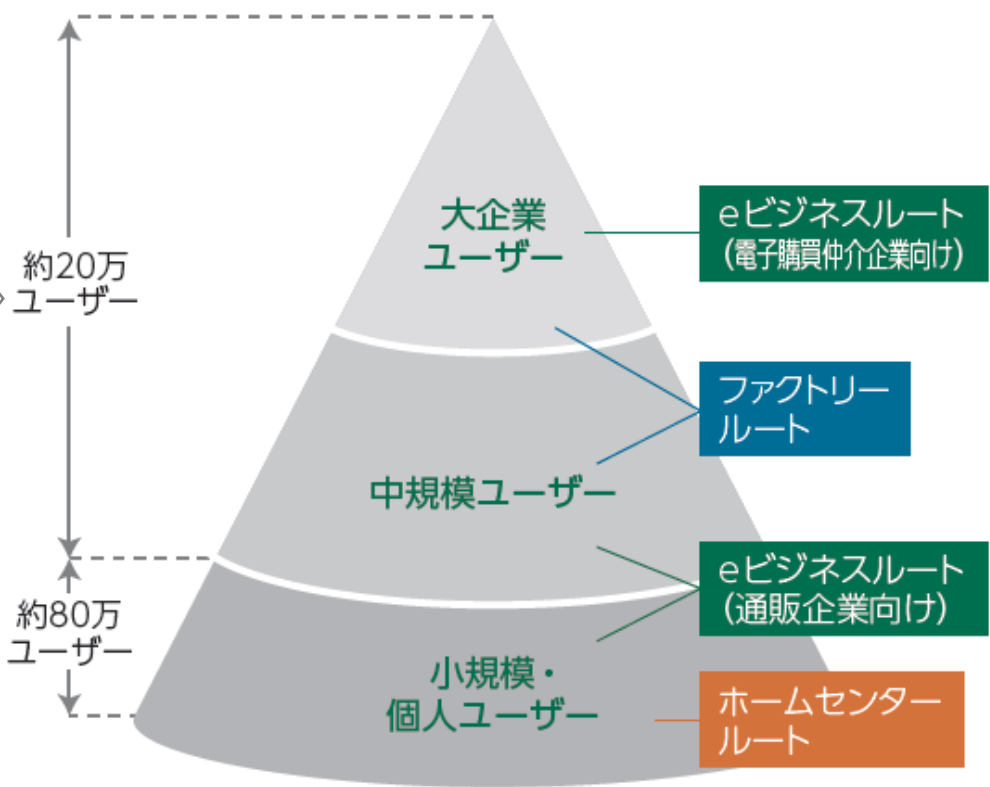
ユーザー別販売ルート

※MROサプライとは電子購買向けの売上高のことです。
※各販売ルートの売上高は当社平成30年度(2018)売上高を
ルート別に分けた金額です。

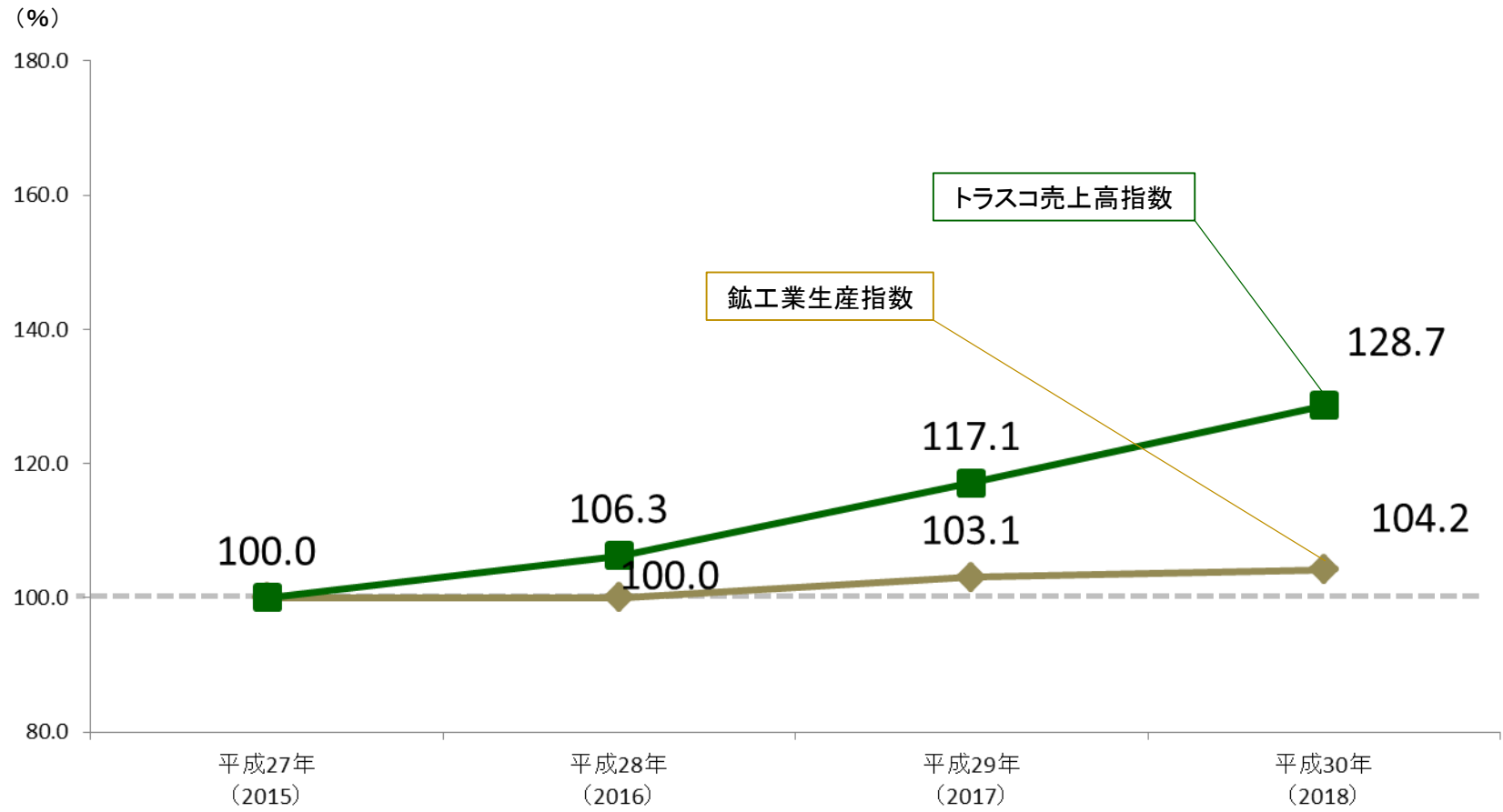
販売ルート	当社 売上高※
eビジネスルート (電子購買 仲介企業向け)	72億円 ➡
ファクトリールート	1,691億円 ➡
eビジネスルート (通販企業向け)	234億円 ⬆
ホームセンター (零細・個人)	134億円 ➡



●対応するユーザーイメージ



■当社売上高指数及び鉱工業生産指数の推移



※指数基準:平成27年(2015)を100とする
※鉱工業生産指数は平成31年(2019)2月15日に経済産業省より公表された数値

8/1 ハイブリッド勤務制度開始

社員の働き方の幅を広げること、異なる職場で仕事を経験して、社員に刺激や気付きを与えることを目的として、所属部署と異なる部署での社内副業を認める「ハイブリッド勤務」の運用が始まりました。

対象	入社2年目以上の正社員で、残業が当月30時間未満、且つ過去半年、月45時間以下の社員	勤務場所	所属部署とは異なる職場
		勤務可能日	土・日・祝日(月2回以内)

9/1 新組織体制スタート

総合的な経営判断をより迅速かつ的確に実施するため、ファクトリー営業部、ホームセンター営業部と物流部の部長を兼任とし、各地域の営業・物流を統括して戦略を立案する組織体制に変更しました。

当社の成長は、在庫と物流の仕組みを拡充している事による部分が大きいため、営業と物流を統括することにより、お客様へのサービスを向上させながら、効率の良い物流の運営ができるように努めてまいります。

従来

ファクトリー営業部 (部長5名)	ホームセンター営業部 (部長1名)	物流部 (部長3名)
---------------------	----------------------	---------------

現在(9/1~)

ファクトリー営業部 兼 物流部 (部長5名)	ホームセンター営業部 兼 物流部 (1名)
------------------------------	-----------------------------

7/19 プラネット北関東 自動倉庫棟・危険物保管庫増築
9/10 プラネット神戸 物流機器導入



↑プラネット北関東自動倉庫内



←プラネット神戸に導入した物流機器「ゲートアソートシステム(GAS)」

在庫50万アイテムに向けて戦略的な在庫アイテムの拡充を進めるとともに、在庫を効率よく収納し、また出荷するための物流機器への設備投資を推進しています。

7月に物流センタープラネット北関東(群馬県伊勢崎市)へ1,880パレット収納可能なパレット自動倉庫の増設、危険物保管庫の設置が完了しました。(詳細は22ページ参照)

9月にはプラネット神戸(神戸市中央区)へバケット自動倉庫、ゲートアソートシステム(GAS)、システムストリーマー(SAS)などの物流機器を導入しました。

9/6、9/27 株主様向け「トラスコ物流見学会」実施

毎年9月から11月にかけて各地の物流センターにて株主様向け物流見学会を開催しており、今年で9年目となりました。昨年稼働した最新物流センター「プラネット埼玉」を含めた5か所で、計6日間開催いたします。9月は物流センター「プラネット東海(愛知県岡崎市)」と「プラネット東関東(千葉県松戸市)」へ2か所合わせて85名の株主様をお招きし、物流の仕組みや最新物流機器をご紹介しました。

プラネット東海の参加株主様と集合写真



今年導入されたGASで商品仕分け体験

